

令和 8 年熊本地震に係る第 7 回災害対策本部会議 議事録

日時：令和 8 年 7 月 3 1 日（金） 9：30～

会場：県庁防災センター 2 階 災害対策本部会議室

1 開会

2 議事

（1）地震状況の説明

別紙「気象台資料」により説明（熊本地方気象台）

（2）庁内各部からの被害状況・対応状況報告

別紙「各部説明資料」により説明（各部長等）

（3）関係機関からの被害状況・対応状況報告

①九州電力

停電戸数は八代市約 2460 戸、宇城市 430 戸、氷川町 1650 戸、合計 4540 戸。本日夕方の復旧を目指す。一般家庭においては、低圧電線や引込線の断線で停電している場合もあり、その場合、当社への連絡をお願いします。漏電ブレーカー等が動作している場合は、電気工事店等に点検・確認を依頼してもらいたい。

②内閣府防災

本日中に第 1 回現地対策本部を開催する。

③経済産業省

電気・ガス関係は早期復旧を目指して取り組みを実施中。ガソリンは八代方面からの供給を開始した。避難所における物資の供給は、現地のニーズを把握しプッシュ型でしっかり取り組む。中小企業支援窓口を 10 か所設置した。

④国土交通省

関係機関で現地応急給水本部を立ち上げ情報を一元化して給水体制を整理。

国道 3 号の段差解消に向けた取り組みを実施し 5 か所解消。継続して状況を改善していく。テックフォース 33 名が現地で支援中。ヘリ現地調査は継続して実施中であり要望があれば対応していく。建設業団体の協力のもと避難所に仮設トイレ等を設置した。

⑤陸上自衛隊

引き続き救助活動、給水支援、救援物資の輸送、患者搬送活動を実施。本日は熊本市南区での入浴支援を行う。

⑥海上自衛隊

支援物資の輸送を実施。

⑦日赤

避難所を中心とした活動を実施。

⑧海上保安庁

継続して給水支援を実施。空からの情報収集、病院間搬送について要望があれば対応する。

⑨総務省

熊本県内 6 市町村に対し、6 県市から 15 名応援職員を派遣。避難所運営等のマンパワー確保のため熊本県内 9 市町に 8 都県市から対口支援チームとして 74 名の派遣を決定。

⑩緊急消防援助隊

日本製紙八代工場については、11 人目の救助後、工場関係者と合同で施設内の搜索を実施し、これ以上要救助者はいないとの確認が取れたため活動を完了。

八代市鏡町で救助犬の反応があった家屋倒壊の件は、搜索活動中に避難の確認がとれたため、活動を終了。八代市、氷川町については、本日以降、地元消防本部に活動を引き継ぎ、緊急消防援助隊の活動を終了。

イオンモール熊本については重機を追加導入し 124 隊 458 名で搜索活動中。救急医療については、DMA T と連携し、病院からの需要に対応中。

3 竹内副知事コメント

避難者が多く残っている中、酷暑、台風への備えも必要となる。避難者のニーズも変わっていく中で、各機関の協力のもと避難所の環境もよくなっていると思う。今後は、個々の避難者に目を向け、保健医療福祉など横の連携、また政府現地対策本部と連携しながら、しっかりと対応していただきたい。

4 亀崎副知事コメント

支援活動、復旧活動をいかに効率的に行うかが大事となってくるなか、渋滞が発生している国道 3 号について、夜を徹して復旧に取り組んでいただき感謝。台風が来た時のリスクを考える必要がある。雨が降った時の避難対象は、地震とはまた違ってくるので、避難体制をどうするか検討を進めてほしい。

5 本部長（木村知事）からのコメント

別紙「本部長（知事）コメント」のとおり